

第3次豊見城市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
(平成30年度～34年度)



# とみぐすく ハッピープラン2018



平成30年3月

豊見城市  
豊見城市社会福祉協議会



## はじめに

～ 人と人、地域がつながる優しさの輪、  
みんなで支える地域福祉のまちづくり ～



豊見城市においては、誰もが住み慣れた地域で、安心して自立した生活が送れるよう、地域で支え合う仕組みづくりを定めた「豊見城市地域福祉計画」を平成19年度に策定しました。また、平成24年度には、すべての市民が安心して暮らすことができる共生社会の実現を図るため、市社会福祉協議会が定める「地域福祉活動計画」と一体化した第2次地域福祉計画「とみぐすくハッピープラン 2013」を策定しました。いずれの計画においても、基本理念・基本目標等を定め、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

しかし、少子高齢化や核家族化の進展等、家族形態の変化により、従来家族で行われてきた育児や介護等に不安やストレスを抱える方が増え、児童虐待や子どもの貧困、高齢者の孤独死など地域福祉を取り巻く課題が増加しております。

本市においても、アパート増加による地域住民の流動性や女性の社会進出による共働き家庭の増加、核家族化の進行など住民同士の交流が希薄化していくなかで、子育て家庭や高齢者世帯、障害のある方々への「見守る環境」「つながり」「支え合い」が大変重要なものとなっております。

このような社会情勢を踏まえて、第3次計画においては、基本理念はそのままに、国が示す地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる『地域共生社会』の実現に向けて取り組みを検討していく所存です。

この計画に基づく取り組みには、住民の皆様及び福祉関係者との協働により推進してまいりたいと存じますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

むすびに、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました豊見城市地域福祉計画審議会委員や市民ワークショップにご参加いただいた皆様、また市民アンケートなどにより貴重なご意見・ご協力をいただきました市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成30年3月

豊見城市長 宜保晴毅



## はじめに



私たちの地域社会では、少子高齢化や核家族化の進行による社会環境や家族関係の変化、住民相互のつながりの希薄化などを背景に、社会的孤立や子どもの貧困をはじめとする生活困窮者の増加など、既存の制度やサービスだけでは対応が難しい深刻な生活・福祉課題が顕在化しております。

一方で、国においては、住民が身近な生活圏域の地域課題を把握して解決に向けて取り組む「我が事・丸ごとの地域共生社会」の実現を提唱しております。沖縄県社協においても、住民主体の支え合い活動の推進として「THANKS(サンクス)運動」を展開し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、住民の暮らしと生きがいを地域とともに創り、様々な生活福祉課題を抱える方々に対し、住民・関係機関が協働して課題解決を図るための仕組みづくりに向けた取り組みを推進しています。

私たち福祉関係者には、地域福祉活動者や住民が意欲的に参加し、支援を必要とする人々を包み込むあたたかい支え合い活動へ発展させていく役割が期待されており、本会においても、地域住民とともに進めてきた「福祉のネットワークづくり推進事業(福祉推進委員会活動)」の顔の見える関係づくり、互いに支えあい助け合う仕組みづくりは、まさに共生社会の実現に向けた取り組みであり、その推進と充実強化がますます重要になっております。

このような社会情勢の変化や課題に取り組むため「人と人、地域がつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり」を基本理念とした‘第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画(とみぐすくハッピープラン2018)’を本会と豊見城市において一体的に策定いたしました。

この基本理念の実現のために、本会に求められる地域に根ざしたコミュニティソーシャルワーク活動を推進し、行政はもとより市民や自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、地域の福祉施設団体等との連携を図り、協働による計画推進のための取り組みを実施してまいります。

本計画の策定に当たり多大なご尽力を賜りました各委員の皆様を始め、貴重なご意見をいただきました多くの皆様方に心から厚く感謝を申し上げますとともに、計画の円滑な推進に一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

社会福祉法人  
豊見城市社会福祉協議会

会長 運 天 齋



## 目次

### はじめに

#### 【第1章 地域福祉計画の見直しにあたって】

1. 計画策定の背景と趣旨	1
2. 計画の目的	2
3. 計画の性格	2
4. 第3次豊見城市地域福祉計画の位置づけ	3
5. 計画の期間	4
6. 計画の策定体制等	5

#### 【第2章 地域福祉に関連する市の状況】

1. 人口	7
2. 高齢者の状況	10
3. 障害者の状況	11
4. 児童の状況	12
5. 生活保護の状況	13
6. 生活困窮者の自立支援	15
7. 子供の貧困対策	16
8. 自治会の声	17
9. 民生委員・児童委員の声	18
10. 市民の声（市民ワークショップより）	19
11. 子どもの状況（中学生へのアンケート調査より）	28
12. 市民意識調査の集計結果より	29
13. 地域福祉計画審議会委員からの意見のまとめと今後の方向性	34

#### 【第3章 第2次計画の推進状況の点検】

◎目標指標の達成状況	35
（点検・1）住民の主体的参加の仕組みづくり	38
（点検・2）地域に根ざした課題解決の仕組みづくり	47
（点検・3）サービス利用に対するきめ細かな支援	54
（点検・4）健康で安心して暮らせるまちづくり	60

#### 【第4章 計画策定の基本的な考え方】

1. 基本理念	67
2. 地域福祉推進の視点	68
3. 基本目標	69
4. 施策の体系	70

5. 地域福祉推進の焦点	71
6. 自助・互助の促進	75
7. 計画における「地域」の考え方	76

## 【第5章 今後の取り組み】

基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり	77
基本目標2 地域に根ざした支え合いの仕組みづくり	88
基本目標3 サービス利用に対するきめ細かな支援	96
基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり	104

## 【第6章 計画の推進に向けて】

1. 自助・互助、共助、公助の意識の啓発、普及	111
2. 全庁的な連携体制の強化（「我が事・丸ごと」による新しい地域包括支援体制づくりに向けて）	111
3. 市全体の連携	112

## 資 料 編

1. 豊見城市地域福祉計画審議会規則	115
2. 豊見城市地域福祉計画検討委員会設置要領	117
3. 豊見城市地域福祉活動計画推進評価委員会設置要綱	119
4. 豊見城市地域福祉計画審議会委員名簿（豊見城市地域福祉活動計画推進評価委員会名簿）	120
5. 豊見城市地域福祉計画検討委員会、作業部会委員名簿	121
6. 地域福祉計画の策定経緯	123